

2023 年度

帰国生徒・外国人生徒試験 募集要項

前期 ・ 後期



お 願 い

この入試要項は 2022 年 5 月現在での情報に基づいた内容で印刷されています。新型コロナウイルス感染症等による情勢の変化によっては、入試日程の変更や延期、中止等の可能性も考えられます。出願に際しては、本学ホームページにて最新の情報をご覧ください、変更等の有無をご確認の上、書類の提出や受験料の振込みをお願いいたします。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

帝塚山大学 教育理念

広い国際的視野の上に日本の伝統・文化・社会に対する深い理解と幅広い教養を身につけ、社会の要請に応える専門知識と創造力・実践力を備えるとともに、地域と国際社会に貢献することのできる人材の養成。

帝塚山大学 アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学は、教育理念に掲げた人材を育成するために、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 他者との対面状況で自分の意志を伝えることができること。
2. 学びたい学部・学科、研究科等の知識や技能を地域や社会で生かしたいという意欲があること。
3. 学びたい学部・学科、研究科等が掲げる人材養成目的を理解していること。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 高等学校の教育課程を幅広く修得していること。
2. 高等学校までの学びや活動などを通じて「思考力」「判断力」「表現力」を身につけていること。
3. 高等学校までの学びや活動などに主体性や積極性をもち、多様な人々と協働して取り組んだ経験を有していること。

このような入学者の選抜は、学力検査のほか、小論文、面接、集団討論、調査書などを活用し、志願者の能力や資質を多面的・総合的に評価して実施します。

文学部日本文化学科

文学部日本文化学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 次の内容について、興味・関心を持っている。
 - (1) 史料を通して古代・中世を中心とする日本の歴史を考えていくこと。
 - (2) 遺跡や遺物、美術工芸品、人々の生活に伝わる習慣など有形無形の文化財を通して、日本の歴史文化を考えていくこと。
 - (3) 古典文学、近現代文学、演劇や、そこで用いられている日本語など、表現や作品を通して日本文化を考えていくこと。
 - (4) 日本語教育法を身につけ、日本の歴史と文化を学んで、その見識を社会に向けて国際的に発信していくこと。
2. 将来は中学校社会科・高等学校地理歴史科、中学校・高等学校国語科の教員、司書教諭、図書館司書、文化財に関わる専門職(博物館学芸員など)、日本語教員のような日本文化に関する専門性の高い職業に就きたいと考えている。

<入学までに修得すべき内容・水準>

歴史や地理、国語表現や現代文、古典などの学習に積極的に取り組み、基礎的知識を身につけていること。

経済経営学部経済経営学科

経済経営学部経済経営学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 幅広い教養と経済学および経営学の専門的知識を修得するとともに、それを活用し主体的に学ぼうとすること。
2. 上記の学びを活かし、地域社会を理解し、その発展に貢献するという意欲があること。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 高等学校までの教育課程を幅広く修得していること。
2. 高等学校で学ぶ国語を通して、読む・書く・聞く・話すという日本語の基本的な運用能力を身につけていること。
3. 高等学校で学ぶ社会を通して、現代における社会的な問題について基礎的な知識を修得していること。

法学部法学科

法学部法学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 安全で安心して暮らすことができる地域づくりに関心があり、将来は公的な職業(都道府県庁や市役所等の職員や警察官、消防官などの公務員等)に就きたいと考えている。
2. 企業活動における法令遵守に関心があり、企業法務に必要な法律の専門知識を修得し、また宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランナー、行政書士、そして司法書士等の資格を取得して、将来はそれらを生かした職業に就きたいと考えている。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 国語の勉強によって養われる事実や意見などの情報を読み解き、考えをまとめて相手に伝えることができる文章力・口頭表現力を身につけていること。
2. 外国語の勉強によって養われる異文化の理解能力・コミュニケーション能力を身につけていること。
3. 社会の勉強によって養われる現代社会の現実的動向および歴史的展開に関する基礎的な知識を身につけていること。

心理学部心理学科

心理学部心理学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 好奇心旺盛で、疑問点には自ら足を運び問題解決することができる。
2. 自ら学んだことをまとめ、他者に伝えることができる。
3. 人の話を聴き、相手を尊重することができる。
4. 社会における多様な価値観を受容し、自分なりの役割を果たしたいと考えている。
5. 心のケアやサポート、ボランティア活動に興味を持ち、積極的に取り組みたいと考えている。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 様々な分野に幅広く関心をもって勉強できていることを重視する。主には、文章を理解する能力、口頭表現の能力、論理的思考の能力、社会の動きを理解する能力を身につけている。
2. 人間の心と行動を関連づけて理解することが大切であると考えている。
3. 自己管理ができる。
4. 自分と他者に思いやりをもつことができる。
5. 他者と協調してコミュニケーションをはかることができる。

現代生活学部食物栄養学科

現代生活学部食物栄養学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 管理栄養士にふさわしい実力を身につけるための努力を惜しまず、向上心を持って学修に取り組むこと。
2. 食と栄養に関する事柄について興味を持って学修に取り組むこと。
3. 健康問題に関心があり、人体、栄養、健康との関連性について深く考察し、社会で生かしたいという意欲があること。
4. 温かい人間性とコミュニケーション能力を兼ね備え、感性豊かであること。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 管理栄養士として必要な基礎学力を高等学校の教育課程で修得していること。

現代生活学部居住空間デザイン学科

現代生活学部居住空間デザイン学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 建築・インテリアデザイン、アートやものづくりに関心が高いこと。
2. 美しい建物やアート作品を観察し、美しさを判断する能力を養う意欲があること。
3. 観察力、思考力、判断力、表現力、協調性などがあること。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 入学後の修学に必要な立体を表現する能力を備えていること。
2. 入学後の修学に必要な数学の基礎学力(「数学 I」程度)を備えていること。

教育学部こども教育学科

教育学部こども教育学科は、教育理念に掲げた人材を育成するために、大学全体のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に定める事項のほか、以下のことを入学者に求めます。

<求める学生像>

1. 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士・保育教諭になる強い意志を持ち、意欲的に学ぶことができること。
2. 自らが積極的に他者とのコミュニケーションの場を作り、活発な交流ができること。
3. 教育学部こども教育学科で取得できる資格・免許等を活用し、広い視野で社会に貢献することに努力し続けられること。

<入学までに修得すべき内容・水準>

1. 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士・保育教諭として、子どもの保育や教育に従事するため、「すべての教科についての基礎的な知識や技能」を身につけていること。
2. 求められる課題や問題に取り組むための「基礎的な思考力、判断力、表現力等」を身につけていること。
3. 主体的・対話的に学ぶために必要となる「多様な人々と協働して学ぶ態度」を有していること。

帰国生徒・外国人生徒試験(前期)

1. 募集学部・学科および募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 学 部	日 本 文 化 学 科	若 干 名
経 済 経 営 学 部	経 済 経 営 学 科	若 干 名
法 学 部	法 学 学 科	若 干 名
心 理 学 部	心 理 学 学 科	若 干 名
現 代 生 活 学 部	食 物 栄 養 学 科	若 干 名
	居 住 空 間 デ ザ イ ン 学 科	若 干 名
教 育 学 部	こ だ も 教 育 学 科	若 干 名

2. 出願資格 (資格 A または資格 B のいずれかに該当すること)

資格 A (帰国生徒)

日本国籍を有する者で、次の 1.~5.のいずれかに該当する者。2023 年 4 月 1 日までに満 18 歳以上である必要はありません。

- 1.外国の高等学校に1年以上継続して在学し、外国の高等学校を 2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者。但し、日本国内における学校※の在籍歴がない者は除く。
(※学校教育法第一条で定める幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校を指す。)
 - 2.外国の高等学校に1年以上継続して在学し、日本の高等学校(文部科学大臣の指定した帰国生徒の受け入れを主たる目的として設置された高等学校またはこれに準じる教育機関を含む)を 2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに卒業した者および卒業見込みの者
 - 3.通算6年以上または継続して3年以上外国で教育を受け、帰国後の日本の高等学校の在籍期間が3年以内の者で、2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに卒業した者および卒業見込みの者
 - 4.外国において、国際的に認められる「大学入学資格検定」相当の資格を 2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに取得した者および取得見込みの者
 - 5.前項までの各項目と同等以上の資格があると本学が認めた者
- (注意) 外国の高等学校には、文部科学大臣が高等学校と同等の課程を有すると認定、または相当の課程を有するものとして指定した在外教育施設を含む。

資格 B (外国人生徒)

「留学」以外の在留資格によって日本に在留する外国人で、日本語理解、表現に関する能力を有すると本学が認め、なおかつ(イ)から(ハ)のいずれか一つに該当する者。

- (イ) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2023 年 3 月に修了見込みの者
- (ロ) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2023 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
- (ハ) 前項までの各項と同等以上の資格があると本学が認めた者

3. 選考日程

試験日	試験場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
2022 年 11 月 26 日(土)	本学 東生駒 キャンパス	2022 年 10 月 20 日(木) ～ 10 月 31 日(月) (最終日消印有効)	2022 年 12 月 2 日(金)	2022 年 12 月 23 日(金)

4. 選考方法

次の2項目によって総合的に選考を行います。

- (1) 書類審査 : 志望理由書等(出願時提出)
- (2) 面接 : 15～30 分

5. 出願書類 (書類が日本語、英語以外の場合は翻訳したものを添付してください)

- (1) 志願票 [本学所定用紙]
- (2) 志望理由書 [本学所定用紙]
- (3) 帰国生徒・外国人生徒試験履歴等調書 [本学所定用紙]
- (4) 高等学校における在学全期間の学業成績証明書(①②のいずれかを提出すること)
 - ①海外の高等学校を卒業した者は、出身高等学校の学業成績証明書
 - ②日本の高等学校を卒業した者および卒業見込みの者は、海外で在籍した高等学校の学業成績証明書および国内の出身高等学校の調査書
- (5) 最終出身校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書
- (6) 本人確認できる書類
 - ①日本国籍の者:住民票記載事項証明書(本籍地の記載があるもの)
 - ②外国籍の者:在留カードの写し(両面) [本学所定用紙に貼り付けてください]
- (7) 外国において国際的に認められる「大学入学資格検定」相当の資格を取得見込みまたは取得した者は、その資格取得証明書および成績証明書

*このほか必要に応じ、別途証明書等の書類提出を求める場合があります。

6. 入学検定料 35,000 円

帰国生徒・外国人生徒試験(後期)

1. 募集学部・学科および募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 学 部	日 本 文 化 学 科	若 干 名
経 済 経 営 学 部	経 済 経 営 学 科	若 干 名
法 学 部	法 学 学 科	若 干 名
心 理 学 部	心 理 学 学 科	若 干 名
現 代 生 活 学 部	食 物 栄 養 学 科	若 干 名
	居 住 空 間 デ ザ イ ン 学 科	若 干 名
教 育 学 部	こ だ も 教 育 学 科	若 干 名

2. 出願資格 (資格 A または資格 B のいずれかに該当すること)

資格 A (帰国生徒)

日本国籍を有する者で、次の 1.~5.のいずれかに該当する者。2023 年 4 月 1 日までに満 18 歳以上である必要はありません。

- 1.外国の高等学校に1年以上継続して在学し、外国の高等学校を 2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者。但し、日本国内における学校※の在籍歴がない者は除く。
(※学校教育法第一条で定める幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校を指す。)
 - 2.外国の高等学校に1年以上継続して在学し、日本の高等学校(文部科学大臣の指定した帰国生徒の受け入れを主たる目的として設置された高等学校またはこれに準じる教育機関を含む)を 2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに卒業した者および卒業見込みの者
 - 3.通算6年以上または継続して3年以上外国で教育を受け、帰国後の日本の高等学校の在籍期間が3年以内の者で、2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに卒業した者および卒業見込みの者
 - 4.外国において、国際的に認められる「大学入学資格検定」相当の資格を 2021 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに取得した者および取得見込みの者
 - 5.前項までの各項目と同等以上の資格があると本学が認めた者
- (注意) 外国の高等学校には、文部科学大臣が高等学校と同等の課程を有すると認定、または相当の課程を有するものとして指定した在外教育施設を含む。

資格 B (外国人生徒)

「留学」以外の在留資格によって日本に在留する外国人で、日本語理解、表現に関する能力を有すると本学が認め、なおかつ(イ)から(ハ)のいずれか一つに該当する者。

(イ) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2023 年 3 月に修了見込みの者。

(ロ) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2023 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

(ハ) 前項までの各項と同等以上の資格があると本学が認めた者

3. 選考日程

試験日	試験場	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
2023 年 2 月 16 日(木)	本学 東生駒 キャンパス	2023 年 1 月 10 日(火) ～ 1 月 19 日(木) (最終日消印有効)	2023 年 2 月 24 日(金)	2023 年 3 月 2 日(木)

4. 選考方法

次の 2 項目によって総合的に選考を行います。

- (1) 書類審査 : 志望理由書等(出願時提出)
- (2) 面接 : 15～30 分

5. 出願書類 (書類が日本語、英語以外の場合は翻訳したものを添付してください)

- (1) 志願票 [本学所定用紙]
- (2) 志望理由書 [本学所定用紙]
- (3) 帰国生徒・外国人生徒試験履歴等調書 [本学所定用紙]
- (4) 高等学校における在学全期間の学業成績証明書(①②のいずれかを提出すること)
 - ①海外の高等学校を卒業した者は、出身高等学校の学業成績証明書
 - ②日本の高等学校を卒業した者および卒業見込みの者は、海外で在籍した高等学校の学業成績証明書および国内の出身高等学校の調査書
- (5) 最終出身校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書
- (6) 本人確認できる書類
 - ①日本国籍の者:住民票記載事項証明書(本籍地の記載があるもの)
 - ②外国籍の者:在留カードの写し(両面) [本学所定用紙に貼り付けてください]
- (7) 外国において国際的に認められる「大学入学資格検定」相当の資格を取得見込みまたは取得した者は、その資格取得証明書および成績証明書

*このほか必要に応じ、別途証明書等の書類提出を求める場合があります。

6. 入学検定料 35,000 円

学 費

●学費

学部学科	入学金	授業料	教育充実費	合 計
文学部 日本文化学科 経済経営学部 経済経営学科 法学部 法学科	180,000円	860,000円	140,000円	1,180,000円
心理学部 心理学科 現代生活学部 居住空間デザイン学科	180,000円	860,000円	170,000円	1,210,000円
現代生活学部 食物栄養学科	180,000円	860,000円	370,000円	1,410,000円
教育学部 こども教育学科	180,000円	860,000円	270,000円	1,310,000円

(注)学費等については、在学中に物価上昇に伴う増額があることを予めご了承ください。

●受託徴収金

学生会入会金	3,000円 入学時のみ
学生会費	5,000円 年間
帝塚山大学 同窓会費	30,000円 入学時のみ
帝塚山大学 後援会費	40,000円 入学時のみ
帝塚山学園 発展協力会費	50,000円 年間(任意でお願いしています)

上記のほか後期学費納入時に冷暖房費 2,000 円を徴収します。

過去 3 年間の 帰国生徒・外国人生徒試験 結果

【2020 年度】

(前期)

学部	学科	定員	志願者数	合格者数
経済経営学部	経済経営学科	若干名	2	1
心理学部	心理学科	若干名	1	0
現代生活学部	食物栄養学科	若干名	1	0

(後期)

学部	学科	定員	志願者数	合格者数
心理学部	心理学科	若干名	1	0
教育学部	こども教育学科	若干名	1	0

【2021 年度】

(前期)

学部	学科	定員	志願者数	合格者数
経済経営学部	経済経営学科	若干名	1	1

(後期)

学部	学科	定員	志願者数	合格者数
経済経営学部	経済経営学科	若干名	1	0
法学部	法学科	若干名	1	0
現代生活学部	居住空間デザイン学科	若干名	1	1

【2022 年度】

(前期)

学部	学科	定員	志願者数	合格者数
現代生活学部	居住空間デザイン学科	若干名	1	0

(後期)

学部	学科	定員	志願者数	合格者数
経済経営学部	経済経営学科	若干名	1	1
現代生活学部	居住空間デザイン学科	若干名	1	1

※志願者のあった学部学科のみ掲載しています

出願・受験に関する注意事項

出願について

(1) 志願票について

- ① 本学所定の志願票を使用し、**黒のボールペン**で正確に漏れないように記入してください。鉛筆や消せるボールペンは使用しないでください。
- ② 出願する前に、記入漏れがないか、志望学部・学科等に誤りがないかを再度確認してください。
- ③ 出願後の志望学部・学科の変更は一切認めません。

(2) 出願書類について

- ① 出願は郵送に限り、出願期間最終日の消印のあるものまでを有効とします。なお、遠方からの出願の場合には、極力最終日以前に投函をお願いします。
- ② 郵送の際は、本学所定の出願用封筒を使用し、必要事項を記入のうえ、必ず簡易書留速達にて送付してください。
- ③ 出願書類に不足・不備等がある場合には、受験できません。出願に際しては十分注意してください。
- ④ 提出された出願書類は返還しません。

(3) 受験票・写真票の交付について

- ① 受験票・写真票は、出願された志願票をもとに作成し、志願票に記載の本人住所宛に郵送します。郵便受けに氏名がなかったり、表札をかけていなかったりすると、受験票・写真票が届かないことがあるので注意してください。
- ② 受験票には、入試方式、志望学科、受験番号、試験日、試験地、住所、氏名等が明記されていますので、誤りがないかどうか、記載事項を確認してください。
- ③ **写真票には試験当日までに写真（出願前3カ月以内に撮影したもので上半身・正面・脱帽、縦4cm×横3cm、カラー・白黒可。裏面に氏名をカタカナで記入）を必ずのりで貼り、**試験当日は忘れずに会場に持参してください。
- ④ 写真票は試験日当日に回収しますが、指示があるまで絶対に切り離さないでください。
- ⑤ 受験票が試験日の2日前までに到着しない場合や、記載事項に誤りがある場合は、入試広報課（電話0742-48-8821）に連絡してください。

(4) 身体等に障がいのある志願者について

- ① 受験および入学後の学校生活に際して特別の措置を希望される場合は、必ず出願開始日の2週間前までに入試広報課（電話0742-48-8821）までご相談ください。必要に応じて面接や試験室の配慮、試験時間の延長等を行います。
- ② 本学としては、施設面等の改善に努力していますが、個別的な配慮には限界がありますので、事前にご相談ください。
- ③ 相談の内容によっては受験および就学上の対応ができず、特別の措置を講じることができない場合もありますのでご了承ください。

受験について

(1) 受験票・写真票について

- ① 受験票・写真票は切り離さないで、試験当日に必ず持参してください。持参しない者は受験資格がありません。万一紛失または忘れた場合には、試験開始までに必ず入試広報課に申し出て再発行の手続きをしてください。写真（裏面に氏名をカタカナで記入）は、写真票に試験当日までにのりで貼ってください。写真の貼り付けを忘れた者は入試広報課まで申し出てください。
- ② 受験中は、試験監督者の指示に従い、所定の位置に置いてください。また、退室の際は必ず携帯してください。
- ③ 写真票は試験時間中に回収します。受験票は試験終了後、持ち帰り、大切に保管しておいてください。

(2) 試験会場の下見について

試験会場の下見をする場合、試験前日に行ってください(9:00-17:00のみ)。ただし、建物内部および試験室には入室できません。建物の位置確認にとどめてください。

(3) 受験上の注意

- ① 試験当日の試験会場内では、昼食を除き、必ずマスクを着用してください。
- ② 試験当日は、受験票に記載している各方式の集合時刻までに各試験室へ集合してください。各試験室への案内は、試験当日に掲示します。
- ③ 試験日および試験会場を間違えると受験できませんので、注意してください。
- ④ 試験室に入室後は、各自の受験番号の示されている席についてください。
- ⑤ 机の上に置くことができるものは、受験票・写真票、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は不可)、時計(時計機能だけのもの。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く)、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、目薬に限ります。
- ⑥ 筆記用具・時計等、必要なものは各自持参してください。試験中の他の受験生との貸借は許可しません。
- ⑦ 携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等の電子機器類等は試験室入室前に電源を切り、試験監督者の指示に従って、試験中は一切手を触れないでください(時計としての使用も認めません)。
- ⑧ 集合時刻から30分以上遅刻した者は受験することができません。ただし、天候の異変・公共の交通機関の遅延その他不可抗力による遅刻の場合は、入試広報課に申し出て指示を受けてください。
- ⑨ 試験時間の途中で退室することはできません。ただし、試験中、病気のため受験に耐えられなくなった時などは、試験監督者にその旨を告げ、指示に従ってください。
- ⑩ 試験会場には空調設備がありますが、窓を開ける等の換気を行いますので、防寒の用意をしてください。
- ⑪ 学内食堂は利用できません。昼食をとる人は弁当等を持参し、試験室の各自の座席で食事を行ってください。飲料も持参してください。
- ⑫ 自家用車での来場は禁止します。保護者等付き添いの方は、試験会場に入場できません。
- ⑬ 試験会場(東生駒キャンパス)へは、東生駒駅からバス(有料190円)が運行しています。
- ⑭ 試験会場において、他の受験者の迷惑となるような行為は行わないでください。
- ⑮ その他、試験室においてはすべて試験監督者の指示に従ってください。

合格発表について

- ① パソコン、スマートフォン、携帯電話で合否照会ができます。
- ② 学内での掲示発表は行いません。
- ③ 合格者には、「合格通知書」および「入学手続書類」を速達郵便で通知します。発表日当日に到着するように手配していますが、地域または郵便事情によっては遅れる場合もありますので、ご了承ください。郵便受けに氏名がなかったり、表札を掛けていなかったりすると郵便物が届かないことがあるので注意してください。
- ④ 不合格者には、「不合格通知」を普通郵便で通知します。欠席者には、合否の結果は通知しません。
- ⑤ 電話による合否の問い合わせには一切応じられません。
- ⑥ 合格発表の翌々日になっても合否通知が未着の場合は、必ず入試広報課(電話 0742-48-8821)まで連絡してください。未着を理由とした入学手続期間の延長は一切認めません。
- ⑦ 試験当日、東生駒駅および試験会場周辺で合否電話・電報の受付、住居紹介等の案内を配布する者があっても、本学とは一切関係ありませんので、十分注意してください。

インターネットによる合否照会について

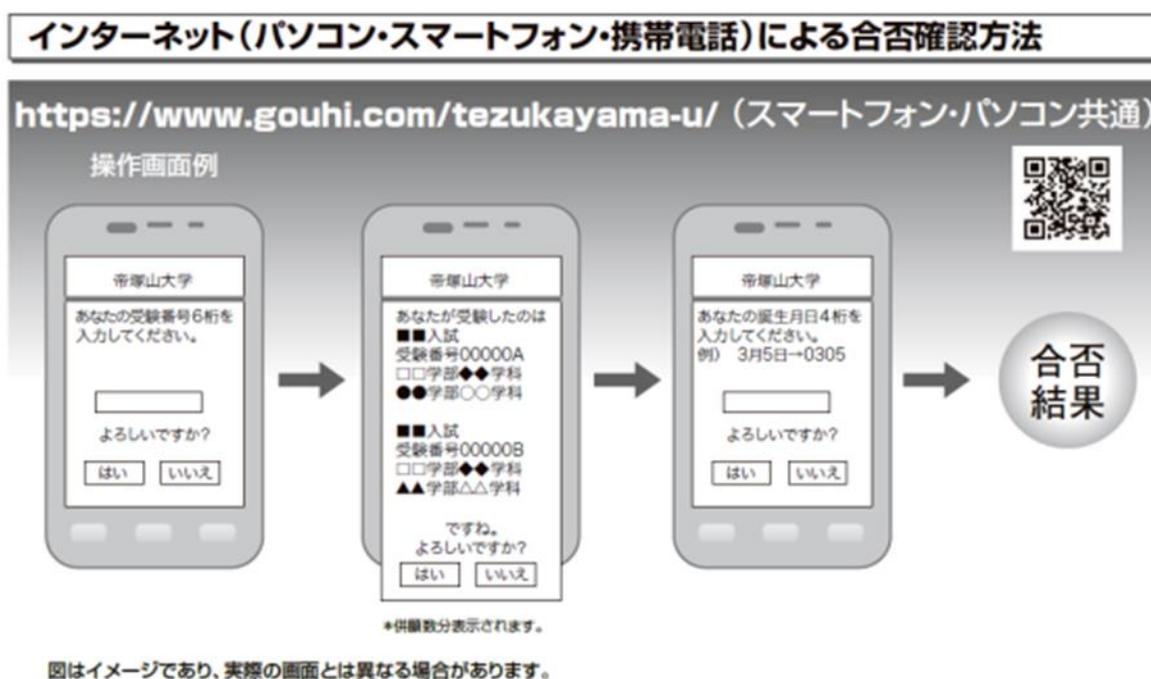
合格発表は、合格者には「合格通知書」を、不合格者には「不合格通知書」を送付することで行いますが、補助的な手段としてインターネットにより合否結果を確認することができます。正式な結果については、必ず郵送されてくる合否通知書で確認してください。

(1) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）による照会

- ① パソコン・スマートフォン・携帯電話をご利用ください。
- ② 照会は「受験番号」と「誕生日」を使用します。以下の合否確認方法の図を参考に操作してください。

(2) 利用上の注意事項

- ① 操作方法や受験した学科、受験番号等のお問い合わせにはお答えできませんので、「受験票」と、この「学生募集要項」は合格発表日まで保管してください。また、合否に関する本学への電話等でのお問い合わせも一切受け付けいたしませんのでご了承ください。
- ② 本システムの「誤操作」、「見間違い」等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否照会システムの利用可能時間は合格発表日当日午前10時より8日間です。
- ④ 試験を欠席した場合は、合否照会の対象外となります。



入試成績の開示について

帰国生徒・外国人生徒試験は、面接および書類審査を点数化しないため、成績を開示しません。

帰国生徒・外国人生徒試験履歴等調書

受験を希望する学部・学科名に○を入れてください。

	文学部		日本文化学科
	経済経営学部		経済経営学科
	法学部		法学科
	心理学部		心理学科
	現代生活学部		食物栄養学科
			居住空間デザイン学科
	教育学部		こども教育学科

顔写真
(正面向:無帽)
スナップ写真不可

裏面に氏名記入
受験3ヶ月以内
に撮影のもの

4cm×3cm

【注意】黒のボールペンで記入漏れのないように記入してください。鉛筆や消せるボールペンは使用しないでください。

フリガナ			男 ・ 女
氏名			
英語(パスポート)表記		国籍	
生年月日	年 月 日	出生地	
現住所	郵便番号・番地・部屋番号まで詳しく記入してください 〒 電話番号()		
メールアドレス	@		
保護者(親)氏名		あなたとの関係	詳しく記入してください
保護者(親)自宅住所・連絡先	郵便番号・番地・部屋番号まで詳しく記入してください 〒 電話番号()		
保護者(親)勤務先住所・連絡先	郵便番号・番地・部屋番号まで詳しく記入してください 〒 電話番号()		

学 歴

学校名	学校所在地	在学期間	修業年限
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年

* 注意 (日本語または英語で記入すること)

1. 学歴は小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入してください。
2. 学校所在地欄は、日本の学校の場合は都道府県、市、郡、区まで、外国の学校の場合は国名、州、市まで記入してください。

高等学校卒業程度認定試験など検定による受験資格 (該当者のみ記入してください)

資格名	取得年月日
	年 月 日

日本語の能力

日本語による大学生活に	全く不安を感じない。	
	やや不安を感じる。	
	困難が予想される。	

* 該当項目に○をつけてください。

外国語の知識

外国語名	熟達程度	学習期間
	優 良 可 不良	年 月 ～ 年 月
	優 良 可 不良	年 月 ～ 年 月

* 外国語の知識はあくまで「自己申告」で記入してください。

◆外国籍の方は提出してください。

在留カードのコピー貼付用紙

【注意】カードの右上の番号が読めますか？（↓↓↓↓↓↓↓↓）

のりづけ

表面貼付

カードの右上の番号は在留資格の
更新手続き等で後日必要になります
12桁の英数字が完全に読み取れるように
コピーしてください

のりづけ

裏面貼付

裏面は書き込みがない場合も提出してください



学生生活課(国際交流担当)

◆学園前キャンパス(入試についてはこちらにお問い合わせください)

〒631-8585 奈良市学園南3-1-3

TEL 0742-41-4303 FAX 0742-88-6031

◆東生駒キャンパス

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

TEL 0742-48-9358 FAX 0742-48-8137

E-mail :kokusai-u@jimu.tezukayama-u.ac.jp

<https://www.tezukayama-u.ac.jp/>



学校法人 帝塚山学園